

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立 七条 中学校)

1 平成26年度 重点評価項目

・「基礎的な学力」と「探究的(活用型)な学力」のバランスのとれた学力の向上 ・「規範意識の高まり」「自立・自律の心」「自己有用感」を育む道德教育
・小中連携

2 1回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定						自己評価		学校関係者評価	
・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						評価日	平成26年10月20日	評価日	平成26年10月23日
・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理						評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校評議員による改善 に向けた支援策
1	確かな学力	わかる授業の創造・言語活動の充実 表現力の育成 家庭学習の習慣化	・教科会の充実 ・研究授業の実施 ・研究授業の実施 ・学校だよりによる啓発活動 ・定期的な課題の作成	各種学力調査結果、生徒学習アンケート 研究授業、教職員・生徒アンケート調査 教職員・保護者・生徒アンケート、提出物	全体的には1、2年は平均値を少し上回るが、3年はほぼ平均値。 指導した範囲ではそれなりに話すが、まだまだ応用は利かない 家庭学習の習慣化に向けて、課題を設定するも特定の生徒の提出率が低い	⇒	学習規律はほぼ浸透してきた。教科会等をもち、授業改善を試みているが、なかなか話し合い活動の場が設定できていないなど不十分な部分もある。これらのことが、各種テストの伸び悩んでいることにつながっていると考えられる。基礎学力が定着できていない生徒の対応に努めるが、なかなか改善されない。	⇒	「考えさせる」授業展開を取り入れることで、「わかる」「言語活動が充実する」につながる。引き続き教科会や校内研修を中心に授業の改善に取り組んでいく。基礎学力が定着していない生徒の家庭学習の習慣化については、ノート指導をするなどの対応や家庭連絡等を考えていく。
2	豊かな心	豊かな体験活動の実践 豊かな心の育成 望ましい言葉づかいの徹底	・職場体験 ・ファイナンスパーク学習 道徳の時間を中心に話し合い等の場を設ける 生徒会活動や授業を中心とした取り組み(呼びかけ)	生徒アンケートによる意識調査 道徳教育全体計画の実施状況、ひよこアンケート 教職員・保護者・生徒アンケート	体験を通じて「満足感」「充実感」を感じている生徒の割合は高かった 5月に「自己有用感」が低いという結果。計画的な取組の結果、やや改善の方向性が見えてきている。 おおむねできていないという結果がでたが、定着できていない。	⇒	体験活動を通じて、「満足感」「充実感」を感じている生徒は多く、取組の成果が見られる。道徳教育において計画的に進めるも「自己有用感」を高めるための取組が必要となる。言葉づかい、あいさつ、約束を守るなどの意識して行動しているが、これからも取り組んでいくことが不可欠である。	⇒	これからも体験活動を精選し、適切な時期に取り組むよう計画をする。道徳教育において自己有用感を高めるために取り組んでいく。そのためにねらいに沿った場を意識して設定していきたい。また、生徒会役員を中心とした生徒団体の組織化と統一性を持った生徒指導にあたる。
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立 安全教育の充実	早寝・早起き・朝食の呼びかけ 避難訓練・防災活動・安全学活の実施	早寝・早起き・朝食摂取の状況調査 安全計画の実施及びその状況	おおむね早寝・早起き・朝食の摂取はできているが、学年が上がるにつれてできなくなっている 安全に対する意識は高くなってきている。避難訓練の避難に要する時間は昨年度よりも早くなる。	⇒	「あいさつ」「ベル着」「早寝・早起き・朝ご飯」等の基本的生活習慣の確立に向けて取組み、成果が出てきているものもあるが、「早寝・朝ご飯」は学年が上がるにつれてできていないと課題が残る。夜遅くまでの塾なども影響するのかもしれない。安全に対する意識も今後高めていきたい。	⇒	今後も生徒会活動とともに、基本的生活習慣が確立できるように取り組むとともに家庭への発信をしっかりとしていきたい。また、自転車の乗り方なども含めて安全に対する意識を高めていきたい。
4	独自の取組	小中一貫教育の推進 情報発信の充実 保護者・地域との連携	・小中の合同研修会の実施 ・オープンキャンパスの実施 学級・学年・進路だよりの発行やホームページの更新 学校運営協議会を中心 に防災教育に取り組む	小中合同研修会の実施 学級・学年だよりの発行・HP更新状況 開かれた学校づくりの状況	校区3小学校と共通のテーマとして道徳教育推進の取組を進めている。夏には「道徳・生徒指導・総合育成支援」をテーマに研修を実施。 学年だよりの発行は定期的に行っている。HPの更新は順調に行っている。 防災学習の取組を準備中	⇒	校区3小学校と共通テーマとして道徳教育の取組を進めている。「学習指導・生徒指導・総合育成支援教育」においても連携を図っている。学校運営協議会を中心として地域教材の発掘、防災教育の取組の準備中である。吹奏楽部を中心に地域の施設へ出かけての交流も行っている。HPについて、昨年度より更新できている。	⇒	小中主任会(教務・学習指導・生徒指導・道徳推進・総合育成支援教育)を定例化して開催しているが、今後も明確なねらいを持って連携を深めていく。学校運営協議会では「地域」をテーマとした防災教育を行う。また、学校からの情報発信も充実するように努めている。